

事象関連電位をどう使うか(7) 一応用的視点と他領域との接点

本ワークショップでは、事象関連電位(ERP)研究を始めたばかりの人、ERPに興味はあるがどうつきあってよいか分からない人、実際に研究しているが何か行き詰まりを感じている人を対象に、その魅力や楽しさを伝えることを目指してきた。ERP研究は長い歴史を持つ反面、そこで培われてきた研究の枠組みに縛られ、他領域の研究者にその有用性が理解されにくいことがあるのではないだろうか?そこで今回のワークショップでは、領域横断的なアプローチで他領域との融合を試みる研究を取り上げる。3名の話者提供者が、「工学心理学への応用(足立)」、「社会的認知研究への応用(板垣)」、「他の生理指標との関連を含めた実務的応用(松田)」といった内容に焦点を当て、最新の研究を紹介する。各自の研究におけるERP利用の妥当性や研究成功への決め手などを含めた議論を通して、本ワークショップがERP研究と他領域の研究との架け橋となることを目指す。

企画・司会：板垣 俊(東京大学)

話者提供者：足立 信夫(パナソニック先端技術研究所)

話者提供者：板垣 俊(東京大学)

話者提供者：松田 いづみ(科学警察研究所)

指定討論者：木村 元洋(ライプチヒ大学)